

★ 市民自治フォーラム開催報告 ★

日時：平成 31（2019）年 2 月 13 日（水）午後 2 時～ 4 時

場所：吹田市文化会館（メイシアター）1 階 集会室

～ 第1部 基調講演 ～



神戸市西区竹の台にある NPO 法人たけのこムの森川賢子さんと浜尚美さんをお迎えし、「自治会が行うコミュニティビジネスとは」と題した基調講演をいただきました。

（コミュニティビジネスとは、地域住民が主体となって、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取り組みです）

コミュニティビジネスのきっかけとなったのは、神戸市が所管していた元集会所を、住民交流のため

の施設として地域委員会で運営し、そこで喫茶事業を始めたことです。

数年間は有償ボランティアがメニュー決めから後片付けまでの作業を担っていましたが、事業に対する意識が個人で異なるほか、特定の人に大きな負担がかかるといった課題がありました。そこで仕事の内容によりパートとボランティアを分けることで継続性を確保し、今では地域委員会の主催するイベントの調理を担当したり、おせちの予約販売を行うなど好評とのことです。

そのほかにも、子ども居場所づくり、高齢者食事会や幼稚園の給食受託業務なども担うようになり、地域委員会の実行部門として、NPO 法人たけのこムを設立。市民太陽光発電事業など活動の幅を広げています。

コミュニティビジネスの成果として、ボランティア活動しかなかった地域活動に雇用を生み出すことができた。若い世代の地域活動に対する理解を進め、協力を得ることができるようになった。地域住民間のネットワークがふえたなどを挙げておられました。

～ 第2部 ワークショップ ～

講演のあとは4班に分かれて、基調講演で紹介された取り組みを踏まえ、吹田市市民自治推進委員会の皆さんや吹田市職員と一緒に、「地域力」を高めるために自分たちでできることについて活発な意見交換を行いました。

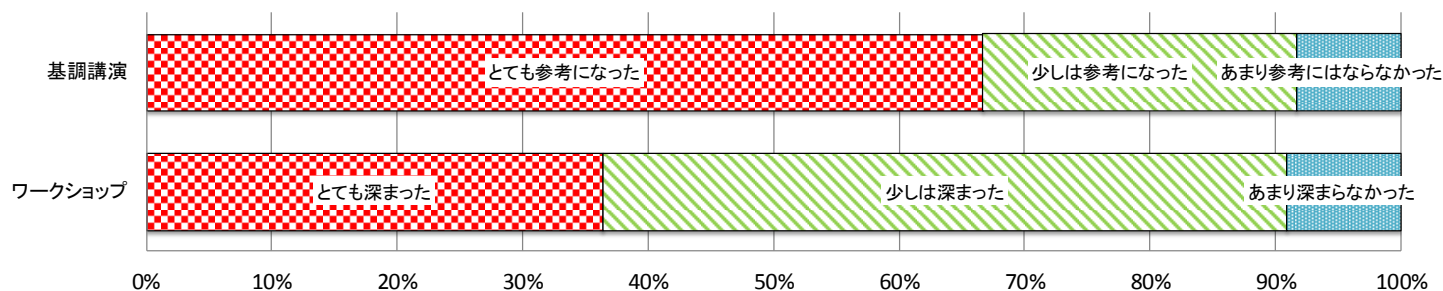
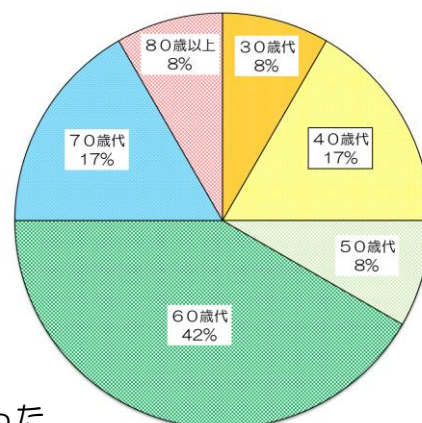
各班からは、「地域のことに無関心の人をどう掘り起こすかが課題」「高齢者や子どもが集える居場所をつくる」「自治会活動に若い方も参加してもらえるよう模索する」「有事のために普段から声掛けをする」「地域と行政がより協力できるようなシステムをつくる」「行政から押し付けられるのではなく、住民同士が直接顔を合わせて合意形成をする」などの意見が出されました。



～ 来場者アンケート結果 ～

回収率 37.5% (12/32名)

- ① 回答した内訳は男性7名、女性5名でした。
- ② 30歳代から80歳代以上まで各年代の方から御回答いただきました（右表参照）。
- ③ 9割以上の回答者が基調講演及びワークショップを通じ、「すいたの地域力を高めるために」の理解が一定以上深まったと回答されました（下表参照）。



- ④ 地域力を高めるために、以下のような取り組みが効果的ではないかとの御意見がありました（一部抜粋）。

- ・それぞれの立場（地域と行政）を理解した上で、良好な関係を築く。
- ・地域の意見（地域での課題や必要なこと）を集約できる場、機会をつくる。
- ・若い世代の理解・協力を深めていく。
- ・自分たちの命は自分たちで守るといった意識を高めるイベントをふやす。
- ・小さいころから防災意識を高め、住民も自力で判断できるよう勉強する。

- ⑤ フォーラムに参加して、以下のような感想が寄せられました（一部抜粋）。

- ・さまざまな地域の現状などが聞いて勉強になりました。
- ・継続するための法人化は必要だと感じました。
- ・参加者の熱心さに感動しました。
- ・地域力を上げて、子どもたちを守れるように勉強していきたいと思います。